



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月1日

上場会社名 株式会社セブン銀行 上場取引所 東
 コード番号 8410 URL <https://www.sevenbank.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 舟竹 泰昭
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員企画部長 (氏名) 竹内 洋 (TEL) 03-3211-3041
 四半期報告書提出予定日 2019年2月5日 配当支払開始予定日 —
 特定取引勘定設置の有無 無
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(表示単位未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	111,435	17.6	32,142	7.0	7,501	△63.4
2018年3月期第3四半期	94,715	2.5	30,029	3.8	20,550	4.3

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 7,428百万円(△62.8%) 2018年3月期第3四半期 19,994百万円(19.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	6.29	6.28
2018年3月期第3四半期	17.25	17.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	1,218,289	207,266	16.9
2018年3月期	1,022,485	212,027	20.6

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 206,934百万円 2018年3月期 211,475百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末新株予約権-期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	4.75	—	5.25	10.00
2019年3月期	—	5.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	6.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細は、本日公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	147,200	15.3	39,900	4.1	12,800	△49.4	10.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	1,192,464,000株	2018年3月期	1,191,528,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	831,371株	2018年3月期	896,328株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	1,191,331,207株	2018年3月期3Q	1,191,071,846株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【添付資料】

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7
(別紙) 2019年3月期 第3四半期決算補足資料	

※ 当社は、以下の通り投資家向け説明会を開催する予定です。
説明会の音声は、開催後当社WEBサイトで掲載する予定です。

2019年2月1日（金） アナリスト・機関投資家向け決算説明会（電話会議）

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

・当期間の経営成績

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の景気は、個人消費におきましては、依然として先行き不透明な状況が続いているものの、所得から支出への前向きの循環メカニズムが働くもとの、緩やかに拡大しております。長期金利から中長期の予想物価上昇率を差し引いた実質長期金利は、マイナスで推移するなど、金融環境は引き続ききわめて緩和した状態にあります。

このような環境の中、当第3四半期連結累計期間の当社連結業績は、経常収益111,435百万円、経常利益32,142百万円となりました。また、当社の海外事業を推進する過程で発生した減損損失14,719百万円を特別損失として計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益7,501百万円となりました。

なお、セブン銀行単体では、経常収益91,098百万円、経常利益34,228百万円となりました。また、上記の特別損失計上に伴い、当社が保有する米国連結子会社FCTI, Inc.（以下、「FCTI」という。）ならびにインドネシア連結子会社PT. ABADI TAMBAH MULIA INTERNASIONAL（以下、「ATMi」という。）の株式について実質価額の低下を認識し、関係会社株式評価損21,756百万円を特別損失として計上したことにより、四半期純利益8,575百万円となりました。

(経営成績)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比
経常収益	94,715	111,435	17.6%増
経常利益	30,029	32,142	7.0%増
親会社株主に帰属する 四半期純利益	20,550	7,501	63.4%減

事業別の概況は、以下の通りであります。

①ATMプラットフォーム事業（国内事業）

当第3四半期連結累計期間も、セブン&アイHLDGS.のグループ各社内外へのATM設置推進等により、ATMをご利用いただくお客さまの利便性向上に努めました。この結果、2018年12月末現在のATM設置台数は24,899台（同年3月末比2.0%増）となりました。また、当第3四半期連結累計期間のATM1日1台当たり平均利用件数は93.6件（前年同期比1.7%減）、総利用件数は632百万件（同2.1%増）と推移いたしました。

なお、2018年12月末現在の提携金融機関等は、616社（注）となりました。

国内の当社連結子会社株式会社セブン・ペイメントサービスは2018年5月に企業から個人宛ての送金をセブン銀行ATMとセブン-イレブンのレジで受取ることができる「現金受取サービス」を開始し、サービスをご利用いただける企業を堅調に増加させております。

（注）JAバンク及びJFマリンバンクについては、業態としてそれぞれ1つとしております。

	2018年3月期		2019年3月期	
	第3四半期 連結累計期間	通期	第3四半期 連結累計期間	通期 (予想)
■ATM1日1台当たり平均利用件数	95.3件	94.1件	93.6件	92.3件
■ATM期間総利用件数	618百万件	815百万件	632百万件	830百万件
■ATM台数	24,032台	24,392台	24,899台	25,350台

②決済口座事業（国内事業）

2018年12月末現在、個人のお客さまの預金口座数は1,959千口座（同年3月末比7.1%増）、預金残高は4,332億円（同5.8%増）となりました。個人向けローンサービスの残高は225億円（同0.5%減）となりました。

海外送金サービスは外国籍のお客さまを中心に契約口座数・送金件数ともに順調に増加し、当第3四半期連結累計期間の送金件数は869千件（前年同期比6.2%増）となりました。

国内の当社連結子会社株式会社バンク・ビジネスファクトリー（以下、「BBF」という。）は、当社からの事務受託に加え、決済口座事業で得た知見を活かし、他金融機関等からの事務受託事業を展開しております。近年、マネー・ローンダリングにおける手口は巧妙化・高度化し新たな社会課題と認識されており、金融機関等には機動的かつ実効的な対応が求められております。BBFでは事務受託範囲を金融機関等のマネー・ローンダリング対策に拡大し、社会課題の解決を通じ、業容の拡大を図ってまいります。

また、2018年6月、株式会社セブン・フィナンシャルサービスと共同出資（当社出資比率30%）で新たに持分法適用関連会社として設立した株式会社セブン・ペイでは、スマートフォンをツールとした新たな決済サービスの2019年度の開始に向けた準備を進めております。

	2018年3月期		2019年3月期
	第3四半期 連結累計期間	通期	第3四半期 連結累計期間
■個人口座数	1,796千口座	1,827千口座	1,959千口座
■個人預金残高	4,156億円	4,095億円	4,332億円
うち普通預金残高	2,695億円	2,682億円	2,918億円
うち定期預金残高	1,460億円	1,412億円	1,414億円
■個人向けローン残高	222億円	227億円	225億円
■海外送金件数	818千件	1,079千件	869千件

③海外事業

北米における当社連結子会社FCTIの2018年9月末現在のATM台数は13,525台となりました。米国セブン・イレブンに設置した8,202台（2018年9月末時点）のATMネットワークを活かし、利用件数の向上、更なる運用効率を追求し安定した利益体質の早期構築に傾注してまいります。

インドネシアにおける当社連結子会社のATMiは進出当初の前提条件、事業計画から大幅な乖離が生じていることより、事業方針を変更し、事業撤退の準備を進めております。

（2）財政状態に関する定性的情報

総資産は1,218,289百万円となりました。このうちATM運営のために必要な現金預け金が736,010百万円と過半を占めております。この他、主に為替決済、日本銀行当座貸越取引の担保等として必要な有価証券が82,480百万円、提携金融機関との一時的な立替金であるATM仮払金が317,941百万円となっております。

負債は1,011,023百万円となりました。このうち主なものは預金であり、その残高（譲渡性預金を除く）は744,090百万円となっております。なお、個人向け普通預金残高は291,822百万円、定期預金残高は141,463百万円となっております。

純資産は207,266百万円となりました。このうち利益剰余金は141,359百万円となっております。

（財政状態）

（単位：百万円）

	前連結会計年度	当第3四半期連結会計期間	増減
総資産	1,022,485	1,218,289	195,803
負債	810,458	1,011,023	200,564
純資産	212,027	207,266	△4,760

（3）業績予想に関する定性的情報

現時点では2018年9月7日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変更がある場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
現金預け金	710,369	736,010
有価証券	61,939	82,480
貸出金	22,715	22,596
外国為替	0	0
A T M仮払金	146,977	317,941
その他資産	18,537	16,461
有形固定資産	24,798	15,968
無形固定資産	35,958	26,245
退職給付に係る資産	264	312
繰延税金資産	962	298
貸倒引当金	△36	△26
資産の部合計	1,022,485	1,218,289
負債の部		
預金	622,406	744,090
譲渡性預金	800	20,810
コールマネー	—	10,000
借入金	10,000	10,000
社債	95,000	95,000
A T M仮受金	59,032	111,579
その他負債	21,769	19,017
賞与引当金	457	218
退職給付に係る負債	2	2
役員退職慰労引当金	2	4
株式給付引当金	102	143
繰延税金負債	885	156
負債の部合計	810,458	1,011,023
純資産の部		
資本金	30,572	30,679
資本剰余金	30,554	30,661
利益剰余金	146,075	141,359
自己株式	△380	△352
株主資本合計	206,823	202,348
その他有価証券評価差額金	244	691
為替換算調整勘定	4,308	3,794
退職給付に係る調整累計額	98	100
その他の包括利益累計額合計	4,651	4,586
新株予約権	533	320
非支配株主持分	18	11
純資産の部合計	212,027	207,266
負債及び純資産の部合計	1,022,485	1,218,289

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
経常収益	94,715	111,435
資金運用収益	2,527	2,665
(うち貸出金利息)	2,437	2,581
(うち有価証券利息配当金)	15	16
役務取引等収益	91,674	107,724
(うちATM受入手数料)	86,791	102,251
その他業務収益	192	246
その他経常収益	321	799
経常費用	64,685	79,293
資金調達費用	536	495
(うち預金利息)	129	91
役務取引等費用	18,519	28,989
(うちATM設置支払手数料)	14,710	22,604
(うちATM支払手数料)	1,371	3,205
その他業務費用	90	—
営業経費	45,516	49,598
その他経常費用	22	210
経常利益	30,029	32,142
特別損失	102	14,813
固定資産処分損	102	94
減損損失	—	14,719
税金等調整前四半期純利益	29,927	17,328
法人税、住民税及び事業税	9,937	10,077
法人税等調整額	△558	△244
法人税等合計	9,378	9,833
四半期純利益	20,548	7,495
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△6
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,550	7,501

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	20,548	7,495
その他の包括利益	△554	△66
その他有価証券評価差額金	196	446
為替換算調整勘定	△762	△515
退職給付に係る調整額	11	2
四半期包括利益	19,994	7,428
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,996	7,436
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	△7

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

（無担保社債の発行）

当社は、2018年12月7日開催の取締役会決議に基づき、国内における一般募集による無担保社債を発行いたしました。その概要は次の通りであります。

1. 社債の名称	株式会社セブン銀行第13回無担保社債	株式会社セブン銀行第14回無担保社債
2. 発行総額	200億円	200億円
3. 発行年月日	2019年1月25日	
4. 利率	年0.160%	年0.385%
5. 償還方法	満期一括償還（期限前買入消却可）	
6. 償還期限	2023年12月20日	2028年12月20日
7. 払込金額	各社債の金額100円につき金100円	
8. 担保・保証	担保・保証は付さず、また資産は特に留保しない	
9. 資金の用途	一般運転資金	

2019年3月期 第3四半期決算補足資料

目 次

1. 四半期財務諸表（単体）	補足2
(1) 四半期貸借対照表（単体）	補足2
(2) 四半期損益計算書（単体）	補足3
2. 自己資本比率（国内基準）の状況	補足4
(1) 連結自己資本比率（国内基準）の状況	補足4
(2) 単体自己資本比率（国内基準）の状況	補足4

1. 四半期財務諸表 (単体)

(1) 四半期貸借対照表 (単体)

(単位: 百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
現金預け金	706,876	733,398
有価証券	90,028	88,852
貸出金	23,799	23,698
外国為替	0	0
A T M仮払金	146,888	317,911
その他資産	11,300	13,046
有形固定資産	17,476	13,191
無形固定資産	25,899	24,355
前払年金費用	116	159
繰延税金資産	1,009	7,048
貸倒引当金	△192	△166
資産の部合計	1,023,201	1,221,495
負債の部		
預金	622,781	744,590
譲渡性預金	800	20,810
コールマネー	-	10,000
借入金	10,000	10,000
社債	95,000	95,000
A T M仮受金	59,032	111,579
その他負債	18,067	15,407
賞与引当金	381	95
株式給付引当金	102	143
負債の部合計	806,165	1,007,626
純資産の部		
資本金	30,572	30,679
資本剰余金	30,572	30,679
利益剰余金	155,493	151,850
自己株式	△380	△352
株主資本合計	216,258	212,857
その他有価証券評価差額金	244	691
評価・換算差額等合計	244	691
新株予約権	533	320
純資産の部合計	217,036	213,869
負債及び純資産の部合計	1,023,201	1,221,495

(2) 四半期損益計算書 (単体)
第3四半期累計期間

(単位: 百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
経常収益	88,257	91,098
資金運用収益	2,518	2,674
(うち貸出金利息)	2,437	2,592
(うち有価証券利息配当金)	15	16
役務取引等収益	85,174	87,339
(うちA T M受入手数料)	80,371	82,103
その他業務収益	192	268
その他経常収益	372	816
経常費用	55,634	56,870
資金調達費用	531	493
(うち預金利息)	129	91
役務取引等費用	13,871	14,382
(うちA T M設置支払手数料)	10,808	11,165
(うちA T M支払手数料)	720	720
その他業務費用	90	-
営業経費	41,120	41,977
その他経常費用	20	16
経常利益	32,623	34,228
特別損失	96	21,854
固定資産処分損	96	98
関係会社株式評価損	-	21,756
税引前四半期純利益	32,526	12,373
法人税、住民税及び事業税	9,937	10,035
法人税等調整額	122	△6,236
法人税等合計	10,059	3,798
四半期純利益	22,466	8,575

2. 自己資本比率（国内基準）の状況

(1) 連結自己資本比率（国内基準）の状況

	2018年12月末	(参考) 2018年3月末
連結自己資本比率（国内基準）	47.75%	50.78%

(2) 単体自己資本比率（国内基準）の状況

	2018年12月末	(参考) 2018年3月末
単体自己資本比率（国内基準）	50.86%	55.48%